



NO 1 1 8  
 H 9 年 4 月 1 日  
 - 発 行 -  
 7869-12  
 熊本県菊池郡  
 大津町森54-2  
 社会福祉法人  
 三気の会  
 三気の里  
 ☎096-293-8100

修羅場を越えて

理事長 田中 稔

施設から眺める周りの風景も、10数年前施設が出来て直ぐの頃に比べると全く違う場所の様に変わってしまいました。整備によって周りの畑や田圃の姿も一変し日一日と春の気配が近づくにつれてその地面が緑を増していきます。

季節の移ろいの中で、いろいろなものや人が移動し、変わっていく季節です。施設の中も人の出入り、班の組み替え等につれて、保護者も一緒になったお別れ会等がぁっています。

保護者とのレクリエーションは、泊まりで行くこともあります。又各班とも月に一度は日帰りの外出レクリエーションがぁっています。他の施設に比べても、こうした施設外経験は多いほうではないでしょうか。

開設当初の事を知っている職員も少なくりましたが、施設の周りを散歩するだけでも、ドテツと地面に寝転んで動こうとはしなかつた子が、マラソンで皆と畦道を走っているのを見て感慨深いものがあります。

飛行機に乗って遊びに行く等は考えも及ばないことでした。何しろ、自閉症施設を作る等は、氣遣いざただと言われていた時代でしたから。

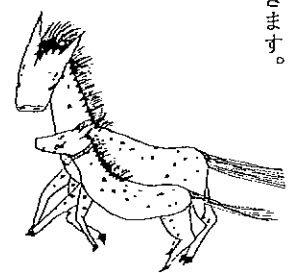
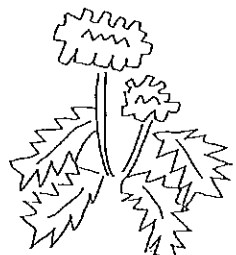
保護者同伴のレクリエーションと一緒に食事をして、カラオケを歌い温泉に浸かりながら、参加されたお母さん達が、昔を思い出しながら「よくここまでなってくれた」感慨ひとしおの話をされていたと聞きます。

三気の里の保護者多くは、義務教育の時期を、子供と家庭の中で過ごして、子育ての中で子供の成長と発達をギリギリまで、努力さ

れて来たお母さんです。体の大きくなつたわが子が思春期に入つて荒れ狂っていく姿にじつと耐えてこられたお母さんたちです。

今年で10年になります。今でも毎月の保護者会には、90%近くの保護者が参加されます。自分が苦勞されて、子供も苦しんだという子供への思いがこうした保護者のまとまりの良さになっていると思ひます。

こうした思いを持った保護者の方達と一緒になつて、指導される事が上手になつた子供達の為に30~50年後を見据えた施設作りをしています。



一のん気 - 二ん気 - げん気

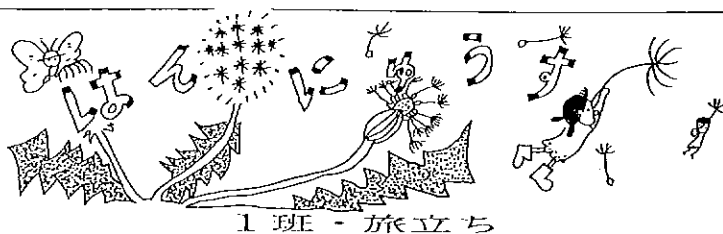
▽桜前線北上中。3月中旬、熊本の桜は例年より10日程早く開花宣言が出た。比較的穏やかな冬も終わりを告げ、外での作業も快適な気候に向かいつつあるようだ。

▽春霞の中で阿蘇や俄山を望むと、草原に点在する炎に気がついた。新たな春の息吹きの前の野焼きである事に合点が行く。▽世界的にも希少価値のある大草原、自然の恵みではあるが、荒れるに任せたままでは決して維持できないと聞く。自然もまた上手に共存する必要が有りそうだ。

▽ニンジンの収穫の手伝いの依頼が舞い込んできました。ニンジン堀の機械の故障によるものなのですが、今こそ力を示さんと園芸班の勇志たちは張り切っていたようです。

▽春はまた旅立ちの時でもある。我が三気の里でも職員が8名が巣立ちました。各々の今後の健康をお祈りいたします。





### 1 班 - 旅立ち

「今度のレクリエーションは？」最近、レクに高い関心を示すようになったしーちゃんが、期待を込めた目付きで訊いてくる。「太宰府に梅の花を見に行くよ。」と伝えると、嬉しそうに「うん。」と言う。ところが、他の職員から「しーちゃんに、レク何処へ行くのと訊くと、「梅ヶ枝餅。」って答えるんですよ。」と、クスクス笑いながらの報告があった。しーちゃんにとっては、『太宰府』＝『梅ヶ枝餅』という図式が成り立つらしかった。太宰府に着いたときも「あった、あった梅ヶ枝餅。」と大はしゃぎ。そんなしーちゃんに最後のレクの思い出にと日置さんが付いた。もう一人、5班に移る亮くんには、担当の平川指導員がつきっきりで名残を惜しんだ。

昼食を摂った後は、二グループに別れて門前町の散策にでた。念願の“梅ヶ枝餅”を食べ、その通りの一角にある風見鶏という喫茶店に入る。レトロで和洋折衷の、一寸不思議な感じのするこの喫茶店では、ストリートオルガンと、柱時計のような、巨大なオルゴールの演奏を聞かせて頂いた。懐かしいような、そして少し寂しいような音色が響き渡り、皆一様に静かになって耳を傾ける。

辺り一面に漂うコーヒーの馥郁とした香りと共に、忘れられない記憶となるだろう…。 坂本

### 2 班 A - 「旅立ち」

桜の開花宣言が平年よりも10日程早く行われ、春らしい暖かさが続いています。2班Aではその暖かさに誘われ散歩に出掛けています。4月からこの2班Aのメンバーが他の班へ移動して行くため、その体力作りも兼ねています。9名の旅立ち先は、博美ちゃんは2班（ネット班）へ、1年間ネットのセット作業の上達ぶりを見て、専門的にやっている2班でも可能だということを決めました。忠ちゃん、上田さん、幸恵ちゃんも元の2班へ、ネット班ではもうベテランです。3班（木工班）へは、藤原さん、ミドリさんが復帰、有働さんがマイペースですが細かい作業でも何でも出来るという事で移動しました。元気者のルーさんは4班（農耕班）へ、この1年間、ネット、張り絵、つと作りと色々な事に取り組みみの中で一番合っていたのがつと作りでした。農耕班でも続けて行けたらと思います。みんなのアイドル、アッコちゃんは1班（パッキン・鶏班）へ。新しい班でのみんなの活躍を期待します。頑張れ！

田邊

### 2 班 B - みんな頑張れ！

桜の花が咲く頃は、別れの季節でもあります。2班Bでも3月をもって退職されることになった石井恵子指導員と豊田さんのお別れパーティーを開きました。“別れ”と付くと悲しいとか涙というイメージがありますが、何故か笑顔の多いパーティーとなってしまいました。その理由は皆一人ひとりからのメッセージのプレゼントと出し物にありました。その中でも一際目を引いたのが、まーちゃんこと村上画伯が描いたお二人の似顔絵。あまりにも上手に似ていたので皆で大笑いしてしまいました。また、出し物では「津軽海峡冬景色」「山口さんちのツトム君」等別れの曲には程遠い歌をまーちゃんと奈彰君で大熱唱してくれ、これまたお腹を抱えて笑ってしまいました。やっぱり2班Bはどんなときも涙よりも笑顔が素敵です。ひまわりのような笑顔で皆を楽しませてくれた石井さん、豊田さんも、皆の笑顔に会いたくなったらいつでも遊びに来て下さいネ！

最後に、新年度の班体勢で1班に移動する米田君、3班に移動する山口指導員、引き続きネット班に残る2班Bのみんな、全員がんばれ～！！

佐藤

#### 4 班 - それぞれの旅立ち

春と言えば、気候や風景等にとっても趣深いものがありますが、その反面別れや旅立ちの季節でもあります。

新年度の体制に移行する中で、農耕班から新しい旅立ちを迎えるメンバーが2名程います。賀文君と指導員の高田（本人）がそうですが、2人とも三気の里で生活するようになったのも一緒に年と同じ農耕班に所属し、年齢もひとつしか違わず、今度再出発する班まで同じという何から何まで似た者同士です。今まで外に出て自然を相手に頑張ってきた2人も、新しい班では室内作業がメインということもあり最初のうちは戸惑うことも多いかも知れませんが、少しずつ慣れ作業も覚えて行きたいと思っています。ちなみに新しい農耕班にも他の班から、ルリ子さんと新ちゃんが、又指導員として新人の広瀬さんと木工班から石井さんが加わり22名でのにぎやかなスタートとなります。

それともう一つ、これも別れの話になりますがこの一年間、非常勤職員と言う形で皆に関わって来られた中山さんが3月末日で退職されることになりました。皆とも仲良くなれ、色々とお世話になっていただけにとっても残念です。これからも、三気の里での思い出を胸に新天地での活躍をお祈りします。

4月からそれぞれの旅立ちが始まりますが、これまでの経験を活かし一步一步前進していこうと思います。農耕班に来たときもこんなことを書いた記憶がありますが、“バッキンのプロフェッショナルになるぞ～！”（笑）

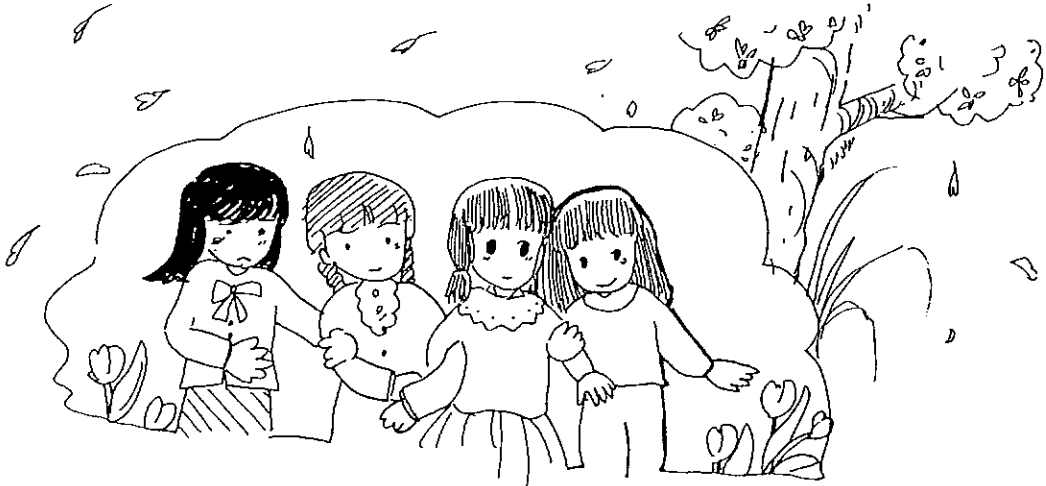
高田

#### 5 班 - それぞれの S T A R T

熊本に桜の開花宣言が全国で一番にされました。いよいよ春本番ですね。花壇やプランターにもチューリップ等が芽生えだし、植物達もごそごそと動きだしています。

私達5班から旅立つ園生はいないのですが、長い間5班で園芸に携わって下さった椎場さんと有働指導員がそれぞれ旅立つ事になりました。椎場さんは退職、有働指導員は2班へ移動と言う事で寂しくはなるのですが、新しく入られる人も3人います。園生では1班から亮君、指導員では、松田副施設長と緒方指導員です。1997年は園生14名、スタッフ4名での新たなスタートとなりました。先日3月8日（土）は、今のメンバーでは最後のレクでした。保護者の方は自由参加で、旭志村の「四季の里」での食事会を行いました。豪華な肥後牛のステーキセットに舌鼓を打ちつつ、平成8年度の最後のレクを楽しみました。外作業の依頼も少しずつ入って来たりもして、忙しくなりそうです。来年度も気合い入れてマイペースで頑張ろう。

園岡



## 3班・旅立ち

三気の里の周辺には、季節の花々が美しく咲いています。今年は桜の開花が早く、急ぎ足で春が来ている様に思えます。春爛漫のこの季節、スタートの季節ですね。木工班にも新しくスタートをきる人がいます。剛君と松井君が1班（パッキン班）へ、木工班の古株、新ちゃんと石井指導員が農耕班へ。4月からは、新しい班で頑張ってください。木工班から旅立つ人がいれば、木工班へ旅立って来る人がいます。昨年春、2A班へ旅立った3人、昭子さん、ミドリさん、高野指導員が復帰です。2B班の山口指導員も4月から木工班で、園生16名+職員5名の計21名でスタートします。新年度も木工製品ともどもよろしくお願ひします。

最後になりましたが、1年間お世話になった八木さんが3月で辞められます。木工班のみんなは八木さんが大好きでした。本当にありがとうございました。 今村

## 療育シリーズ

回想

田之上 健一

三気の里も開所して十年が経ち、来年度で11年目を迎えようとしています。開所当初20数名の入所者の処遇で始まり、現在約80名（現78名、来年度で満所になると思われる。）の入所者と共に生活をしていきます。考えてみれば当たり前のことですが、入所者の皆も10歳年をとり、最初からいる職員も10歳年をとっているのです。改めて月日が経つのは早いものだと感じます。3年前には50名から80名に増員となり、設備も充実してきました。職員に多少の入れ替わりはあったものの、最初からいるスタッフの三分の一位は居るのも強みです。基本的な指導は今も昔も大きく変わることはないのですが、以前はよく「待つ」という事と、入所者との関係作りを重点に置いていました。「待つ」という事は、口では簡単な様ですが、なかなか大変な事でした。例えば、帰園の際に車からなかなか降りず声掛けで促し続けたり、体をブロックし、指導員の意図する方向だけに動け

るようにしたり、園内に入るまでに5〜6時間を要し、入ってから、動かそうとする度時間をかけ、作業でも、居室から作業棟への移動だけで作業時間が終わることも度々でした。パニックは当然のごとくつきもので、毎日園内のどこかで、ほとんどフルタイムの状態で起こっていました。よく体力がもったものだと思います。決して叱ることは前提にせず、まず落着かせ、その後話をし、納得させるという方法でした。落着かせる方法として（「ねかせ」といっています）動作訓練の一つで、仰臥位で4〜5名の指導員が、頭部・手・足などブロックし、（決して押さえ込むものではありません。落ち着くまで寝かせるのです。10〜15分位すると話がだいたい聞ける状態まできますので最後に正座をし、話をするので、指導員も人の子、パニックや問題行動に対して感情的に対応したくなる時もあります。しかし、この方法を身につけたことで、指導をする上でかなり役に立ちました。プロ意識も向上した様に思います。入所者との関係が成立すると、本格的にスマールステップながら、次

の目標へと指導内容を濃くしていきます。叱る事を前提としていなかったことも、叱れる関係になったことで、ダメな事はダメ、褒めることは褒めるとメリハリをつけた指導で行います。自閉症の人には言葉掛けもわかりやすく簡潔に行います。指示動作も同じくわかりやすくします。これらのことは、自然に行われるべきなのです。 来年度も新人職員、新入園生も入ります。現在大きく調子を崩している園生はほとんどいないといっても過言ではないと思いますが、混乱を招くことのないように、今年度から新年度にかけて、先行きがわかりやすくするために引き継ぎをしつかりとし、対処したいと思います。50名から80名に増員した時、指導を急ぎすぎ、早く足並みを揃えられる様にした感もありますが、これからも段階を踏まえ、新人職員も、ベテラン職員も、知恵と経験を積み重ね、園生の皆がよりよいサービスを受けられるよう努力します。



ふれあいレクレーション

満原 千保

3月8日(土)に大津町社会福祉協議会の主催で「ふれあいレクレーション」の集いが行われました。この集いは、施設利用者と在宅障害者がボランティアと交流を図り、障害を持つ方々への理解を深めて頂くということが目的です。施設からは、三気の里、つくしの里、あゆみ園が参加し、各施設によるハンドベル演奏や劇、在宅障害者の方々によるカラオケ、寒香知軒(かんこうちけん)氏によるバンド演奏と、大変盛り上がりました。三気の里から参加した15名のメンバーは、演奏中の雑音や混乱もなく、落ち着いた雰囲気で見賞することができていました。年々成長していく皆に感動させられました。今後もボランティアと障害者との交流が図れる機会を増やし、もっともっと深めて行きたいものです。

施設見学研修

石井 康就

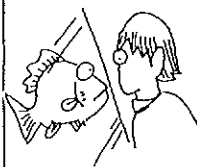
去る、二月七日、八日の二日間、末永、平川、石井の三人で鹿児島県へ施設見学に行きました。

一日目は、ふるさと学園に見学に行きました。この施設では入所と通所の両方を行っている施設で、三気の里の将来に役立つものが多くありました。

二日目は、榎山学園へ見学に行きました。この施設には利用者の方の手造りの喫茶店があり、三気の里にも造ることが出来たらなあと感じました。

この施設見学で得たものを三気の里でも生かして行きたいと思えます。

食営学営卒業中



「厨房さん、ごみ捨て行くかい？」とオクターブ高い声で私たちを呼ぶのはルリ子さん、通称ルーさんです。最近では土、日だけの手伝いが、平日でも暇な時は専用の一輪車で厨房のゴミを運ん

でくれます。その一輪車には、長い紐が付いていてなかなかの優れものです。私たちも、つい甘えて

「ルーさん、今日もよろしくね」と頼んでしまいますが、「いいよー」と気持ちよく引き受けてくれます。今日もまた、一輪車をカタカタ言わせて運んでくれるルーさんに感謝します。

村上



栄養の話「小松菜」

青野菜が少ないこの時期にたっぷり食べたいのが栄養価の高い緑黄色野菜の小松菜です。ホウレン草よりカルシウムはずっと多く含まれているので、カルシウムが不足しがちな高齢者や妊婦・成長期の子供達は積極的に食べたいものです。カルシウム以外にもβカロチンやビタミンC、鉄分も豊富です。βカロチンは体内に入ると、一部がビタミンAに変化します。ビタミンAは視力を保ち、皮膚や粘膜を健康にする働きがあります。

堀尾

ボランティア通信

もう春ですね。三気の里には春の香りがプンプンしています。

三気の里に実習やボランティアに来て下さった方々の中には、4月から進学される方、また社会人になられる方と様々なスタートが待っている事と思います。新生活は何かと忙しく大変かと思いますが、ちょっぴり暇を見つけては、また、三気の里のみんなに会いに来て下さい。(新年度もいろいろと楽しい行事を計画しています)

4月27日(日)には、三気の里の開園10周年記念祭を行います。沢山のイベントを予定していますので、お手伝いをして下さるボランティアの方を募集します。詳しくは、ボランティア担当の石丸、岡岡まで御連絡下さい。

(ボランティアありがとう)

☆生け花 西村栄子

☆ブラッシング指導 森 隆子

☆散髪 坂本シマコ 松尾博美

泉 美千代

※敬称略



4月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
1	2	3	4	5	6	7	白 貞彦くん・浩ちゅん・宏幸くん・誠恵ちゅん 一裕くん誕生日おめでとう! 12日 保護者会・一斉帰宅日
6	7	8	9	10	11	12	浩ちゅんの誕生日(26) 入所式 (洋一くん・麻衣ちゅん) 宏幸くんの誕生日(29) 保護者会・一斉帰宅日 スペシャル駅伝
13	14	15	16	17	18	19	誠恵さんの誕生日(29) 一裕くんの誕生日(23)
20	21	22	23	24	25	26	23日 懇話会 / たんぽぽ編集日
27	28	29	30	7日	12日		7日 入所式 23日 懇話会 27日 開園記念祭 12日 スペシャル駅伝

※ 今月は帰宅バスは運行しません。



退職職に宥かせて

例年の事であるが、今年も三気の里を巣立つ職員がいる。8名の指導員、非常勤職員の方が職を辞する事となった。

石井恵子さん、日置朋子さん、岡村初美さん、椎場真人さん、中山天野人さん、八木良江さん、豊田輝子さん、玉永誠悟さんお世話になりました。

社会情勢が厳しくなる中、三気の里においても緊縮財政、リストラの波は例外無くやって来た。特に非常勤職員の方の存在は、輕輕に考えていたように思う。我々常勤職員の不足を補うばかりでなく、過剰の役割を期待し、居る事が当たり前のようになっている。いつのまにか8年も一緒に働き、私たちの我が侘にも嫌な顔せず応じてくれた日置さん、3年間処遇のあり方に真剣にディスカッションした岡村さん、上げたら際限無く浮かぶ思い出の数々、お世話になりました。思い出の数以上にかけた迷惑、本当に申し訳ありませんでした。

今回の辞職は、個人の理由だけでは片づけられない。私たちの奢りが招いた結果でもあり、襟を正

して新たな年を迎えなければならぬ。

三気の里で格闘した日々は、我々を同志として育ててくれたのではないのでしょうか。状況は変わりましたが、次の機会にまみえる事があれば、甘える事無くお互いを向上させてくれるものと信じております。

編集後後記

この3年間振り返ってみると、編集の現場監督をやっていた気がする。響きはいいが... 高田

この丸3年間で学んだ事は、チームプレイの難しさでした。國岡長い間ありがとうございました。國岡

これからも頑張ってください。吉田 春眼眺ヲ覚エズ。今宵も心地良い春風にのって流れるヨグレと共に... 一足お先に失礼します。麻生 あっという間の2年間でした。

後は任せたぞ... 堀尾 上村 本日をもって、たんぽぽ卒業。万歳! 万歳! 万歳! でもちよっぴりさみしいかも... 佐藤

追伸 祝3月11日火曜ササベンス劇場出演おめでとう。まーちゃん、お母さん。(乞うビデオ連絡ください。)



坂井